



みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月のひと

あすと長町仮設住宅 ペットクラブの代表

**ペットは家族であり、生活の一部
いない生活なんて考えられない**

「どこかにマルとブーがいるんじゃないかと思ったんです」。そう語るのは、あすと長町仮設住宅ペットクラブの代表を務める橘レイ子さんです。橘さんは、津波によって二匹の愛犬を失いました。あまりにも突然の出来事に心の整理ができず、震災後、愛犬の面影を探して、動物管理センターやペットショップに通う日々が続いたと言います。毎日ペットの話をする橘さんを見かねた夫の正一さんが、「マルに似ている犬がいたよ」と一匹の犬を連れてきました。「実際に見たら似てなかったんですけどね。この子が来てから、精神的に元気になりました」と、橘さんは笑顔をこぼします。「仮設住宅の皆に春がくるように」と、マルと名付けられた犬は、新たな家族の一員として、橘さんに癒やしを与えています。

あすと長町仮設住宅では、約五十匹のペットがともに生活しています。クラブの代表として、飼い主の皆さんと支援団体の懸け橋となっている橘さん。「ペットを飼っている人も、飼っていない人も、お互いが気持ちよく暮らせるようになればいいですね」と、理想を話してくれました。

2013
9月



インタビューは
NPO法人エーキューブ理事長
齋藤文江さん

NPO法人エーキューブは、しつけをした動物「アニマルコンパニオン」を介して、社会的教育や情緒の安定などを提供する「動物介在活動」を行う団体です。一方で東日本大震災発生時には、ペットとその家族たちにとって欠かすことのできないボランティアグループとして活動していました。



あすと長町仮設住宅ペットクラブの方と一緒にフン拾い

「震災直後は、仙台市内の各避難所を走り回っていました。ペットの安否確認や、備蓄していたフードを被災者へ提供するなど、ペットへの支援をいち早く行っていました」と、理事長の齋藤文江さんは当時を振り返ります。

「あすと長町の仮設住宅は、ペットを連れて入居する方が多かった中で、入居開始直後からこまめに足を運んでいました」と話す齋藤さん。同仮設住宅では、名簿づくりや支援物資の配給のほかにも、動物病院への付き添いなど、常にペットを飼う皆さんに寄り添った活動を心がけています。

その後、ペットを飼っている方たちが中心となり「あすと長町仮設住宅ペットクラブ」を設立。エーキューブはペットクラブの皆さんと共に、マナー向上のためのイベントや、敷地周辺のフン拾いなどの活動を積極的

「震災直後は、仙台市内の各避難所を走り回っていました。ペットの安否確認や、備蓄していたフードを被災者へ提供するなど、ペットへの支援をいち早く行っていました」と、理事長の齋藤文江さんは当時を振り返ります。

「あすと長町の仮設住宅は、ペットを連れて入居する方が多かった中で、入居開始直後からこまめに足を運んでいました」と話す齋藤さん。同仮設住宅では、名簿づくりや支援物資の配給のほかにも、動物病院への付き添いなど、常にペットを飼う皆さんに寄り添った活動を心がけています。

現在もエーキューブとペットクラブの交流は続いています。仮設住宅でペットを飼っている方たちにとって、もはやエーキューブは欠かすことのできない存在となっています。

齋藤さんは「今後も皆さんとペットが仲良く暮らしていけるよう、さまざまな形で支援活動を続けたい」と、これからの抱負を語っていました。

エーキューブと被災ペットのかかわり

ペットのお話



仮設住宅にはペットと暮らす方がたくさんいます。今月末の動物愛護週間にちなみ、飼っている方には気になる「復興公営住宅での動物飼育」の最新情報や、震災直後から被災ペットを支援してきた団体へのインタビュー記事など、ペットに関するお話をまとめてみました。



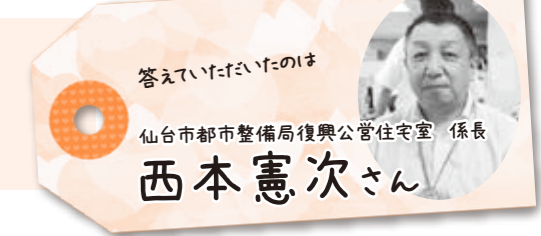
復興公営住宅でのペットの飼い方

復興公営住宅へ入居希望者にとって、新居での愛する“家族”との暮らしがどうなるのか、不安を感じている方も多いのでは。意向調査の速報では分かりにくかった飼育のポイントについて、仙台市都市整備局復興公営住宅室にお聞きしました。

基本的には可能です。しかし制限があります。そもそも仙台市では、公営住宅でのペットの飼育が認められていません。今回の措置は、あくまでも特例だということを理解してください。

なおペット可の住宅の選定については、地域のバランスやペットを飼育する方たちの人数などから算出しました。ご協力をお願いします。

復興公営住宅でペットを飼う場合、入居が決まった時点で、入居に必要な書類などと一緒に「ペット飼育に関する誓約書」を提出していただく予定となります。



仙台市都市整備局復興公営住宅室 係長
西本憲次さん

復興公営住宅でのペットの飼育は可能？

なぜ飼える住宅と飼えない住宅があるの？

どんな種類のペットを飼っても大丈夫なの？

ペットと暮らすための諸条件やルールは？

ペットと暮らす方のよもやま話

ペットは家族の一員。でも仮設住宅でいろんなことがあるはず。ペットを飼っている方に直撃取材しました。

散歩はマメに 鵜田さんと元気くん(犬・ミックス)

元気は16歳。震災前は名前通り“元気”だったけど、仮設住宅に移ってからは体力が落ちたような気がするね。目も悪くなってきたけど、散歩だけは欠かさない。今は一緒にいられる幸せを感じるよ。

癒やしの相棒 大湯さん&クーちゃん(猫・ミックス)

ウチのクーは昔からおとなしくて。あまり鳴いたりしないから、特に苦情とかを受けたことはありませんね。被災した時から一緒だけど、いつも癒やしてもらっています。

マナーが大切 村山さん&三郎くん(犬・キャバリア)

やっぱり気は使いますよね。大型犬に比べれば騒音も少ないとは思いますが、嫌いな人もいますから。ほかの人に迷惑をかけないように、散歩の時などもマナーには気を使います。

動物慰霊祭

内容/愛玩動物の御霊を慰める式典
日時/9月7日(土)13:30~14:15
場所/仙台市福祉プラザ ふれあいホール
その他/※遺影を持ち込んで飾ることも可能
問/仙台市動物管理センター tel022-258-1626

動物感謝の日

日時/9月23日(月・祝)10:30~15:00
場所/勾当台公園市民広場
主催/(公社)宮城県獣医師会
問/仙台市動物管理センター tel022-258-1626

動物愛護セミナー

内容/老犬、老猫のケアについてのセミナー
日時/9月7日(土)14:30~15:30
場所/仙台市福祉プラザ 第1研修室
その他/演題「より快適なシニアライフのために」
問/仙台市動物管理センター tel022-258-1626

収容動物譲渡会

内容/センターに収容された犬・猫の譲渡会を実施
日時/9月29日(日)10:00~16:00
場所/仙台市動物管理センター
問/仙台市動物管理センター tel022-258-1626

ペット情報掲示板

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●6日(土) 熱いギタリスト登場
(あすと長町仮設住宅)



クラップス「元気お届け隊」が登場。今月はギタリスト「マスクロイド」のミニコンサートも行われました。会場にはたくさんのお客さんが集まり、熱いギター演奏に大興奮。

●7日(日) うーん、合理的?
(コミュニティ・ワークサロン えんがわ)

宮城大学の学生ボランティア団体@GREEN主催イベントが開かれ、流しそうめんと七夕飾りづくりが行われました。そうめんを流す竹は学生が割って削ったお手製です。流しそうめん初体験という参加者の方が多く、そうめんをつかむのにも四苦八苦。中には出口に置かれたざるに溜まったそうめんを食べる人まであらわれ、「あら、あんな、いい場所

見つけだごと〜」「んだ。ここなら絶対食べるぞ」と。流しそうめんの特等席は出口のようです。



●11日(木) 順序を踏むことが
こつです
(金剛沢前町内会集会所)



サロンで行われた七夕飾りづくり。短冊に書かれた「彼女ができますように」という願いに「彼女じゃなくて、まず友達から始めろ〜」とアドバイスが飛び出しました。

●14日(日) 夏カフェまつりを開催
(あすと長町仮設住宅)



「小さな未来をつくる夏カフェまつり」が中央広場で開催されました。木工体験や棚づくりなどのワークショップのほか、ミニゲームで盛り上がっていました。

●14日(日) いらっしやいませ〜!
(太白区文化センター・たいはくる)



あすと長町仮設住宅の糸あそびの会の皆さんが、スマイルマルシェで編み物や織物などの手づくり品を販売。お客さんと交流したり、他店で買い物したりと、催しを満喫していました。

●18日(木) 皆で遠出は楽しいな
(富沢市民センター)



支えあいセンター主催のサロンで、地下鉄車両基地と市電保存館を訪問しました。あいにくの雷雨でしたが「遠足みたいで楽しい!」と、大満足の皆さんでした。

●31日(水) 七夕飾りで交流を深めて
(郡山コミュニティセンター)

郡山在家町内会が例年行っている七夕飾りづくりに、誘いを受けたあすと長町仮設住宅やグループホームなつき荘にお住まいの皆さんが参加しました。

この日は皆で協力し、折鶴や吹き流しなど、笹につける飾りをつくりました。地域の学校や神社、仮設住宅など各所に飾るため笹6本分を製作するとあって、飾りだけでもその量は



膨大です。時折談笑を交えながらも、作業する手は止まりません。お昼には郡山在家町内会婦人部の皆さんお手製のカレーで英気を養い、午後まで作業は続きました。

読者から
ひとこと

●富沢市民センターのサロンで、近くの車両基地に行きました。震災の影響で市外から仙台市にきてからもう二年になるけど、ここに車両基地があるなんて知らなかったです。皆で来ることができすぎて嬉しいです。前日はワクワクしすぎて眠れなかったくらいなんです。

太白区/Hさん

●中野小学校五年生になった孫の真望をいつも下校後に預かり、一緒に遊んでいます。心優しい子で、「おじいちゃんがかさびしいだろうから」と、犬のぬいぐるみを部屋に置いて行ってくれたんです。

宮城野区/菊地武三郎さん

●ようやく仮設暮らしに慣れてきたのに、また引っ越ししないといけないんだよね。震災前までは知らなかった人ともすぐ仲良くなったんだよ。あと一年、二年で離ればなれになっちゃうんだと思うときみしいね。

若林区/佐藤さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区

中野小学校校区
復興対策委員会

中野地区四町内会(港、蒲生、西原、和田)が丸となり、復興に向けた活動を行っています。

八月四日(日)定例会議

内容

●復興事務局から説明と報告
●委員側からの質疑応答

当日の様子



問い合わせ先
委員長 高橋実 022-258-3068
定例会議
毎月第1、第3日曜日16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

宮城野区

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まつりづくりを進めています。

七月二十八日(日)定例住民説明会

内容

●津波避難施設、かさ上げ道路説明会
●質疑応答

当日の様子



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
会合は随時開催
住民説明報告会
毎月最終日曜日 岡田西町仮設住宅集会所

若林区

荒浜移転
まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

八月九日(金)定例会議

内容

●協議会ニュースの内容検討

当日の様子



問い合わせ先
代表 末永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会場においてください)
定例会議
第2・4金曜日19:00~
サンピア2F 会議室4

若林区

荒浜再生を願う会

荒浜に戻って文化の再生を目指す住民有志が中心となって活動しています。

八月五日(月)定例会議

内容

●イベントについての協議

当日の様子



問い合わせ先
代表 貴田喜一 090-8254-4270
定例会議
毎週日曜日19:00~
荒井小学校用地仮設集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

東日本大震災から二年半。今、さまざまなかたちで支援を続けている方々がいます。地域に根差して支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台的の大学生記者が取材しました。

仙台傾聴の会(森山英子代表)は二〇〇八年から、名取、仙台両市内の介護施設などで、認知症やうつ病を患う方々の悩みや不安にじっと耳を傾ける支援を行ってきました。震災を機に、仮設住宅や市民センターなどで「茶話会」のような場を定期的に設けるようになり、現在もなお、被災された方に寄り添い続けています。会のメンバーは仙台市を中心に県内在住の約二百人。民生委員や看護師、薬剤師など職業も年齢もさまざま、実際に傾聴するにあたって基本的な講習を必ず受講しており、中には臨床心理士などカウンセラーの資格を持つメンバーもいます。

「震災当時の話をされる方もいますが、生活再建への不安や人間関係の悩みを話される方が多いですね」。震災から約二年半。参加者の話題内容にも変化がある、と副代表の長田憲一さんは言います。自立への歩みを踏み出し、気丈に振る舞いながら、周囲にはなかなか言えない不安や悩みを抱えた方は少なくありません。知り合いの目を気にせず、ゆっくり話ができる茶話会は、そうした方々の心を軽くする場になっているようです。若林区内からバスに乗って毎月通っているという八十代の女性は、同じような思いで通い続けている幼なじみの同級生との会話に花を咲かせていました。「ここじゃさ、周りに気つかわなくていいがらっしゃ。好きなこと話せんだがらいいのつ



くつろいだ雰囲気、ボランティアと参加者同士が話を交わし合う「傾聴茶話会」

しゃ」。「こんな風にこの会を楽しみにしてくださる方もいて、日常の何気ない会話も増えましたね」。事務局長の伊東みどりさんが、おぼろげに目を細めていました。

傾聴の基本は、相手を認め、話を受け止め、共感すること。どんな話でも、どんな人でも、メンバーたちは温かく迎えてくれます。「悩みを一人で抱え込んでいる人はまだまだいると思います。会話に限らず、同じ時間を共有することで、ほっとした気持ちになってもらえたらとてもうれしいです」と、長田さん。仮設住



冊子「あなたの心によりそう 傾聴ボランティアの視点」。会員の思いや日常でも使える傾聴のポイントが載っています

宅などで行う傾聴の際、最近では、個人宅にお邪魔して話を聞くことも増えているそうです。

会では先日、震災後の活動記録などをまとめた冊子「あなたの心によりそう 傾聴ボランティアの視点」を刊行しました。会発足から五年間の歩みや会員が日常の傾聴活動で感じていること、日ごろから使える傾聴のポイントなどが盛り込まれています。

傾聴活動 9月開催日程

- 申込不要、参加無料
- 傾聴茶話会
10月7日(月)10:30～12:00
仙台市民活動サポートセンター
- 傾聴サロン
9月7日(土)、10月5日(土)10:00～15:00
仙台市福祉プラザ
- 電話相談：080-3199-4481
(火・木・土曜日9:00～17:00)
- 問い合わせ/
仙台傾聴の会 森山英子代表
090-6253-5640
http://blog.canpan.info/morimori/

取材：遠藤柊子、福長悠@東北大学大学院
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/ より (地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

地域住民による手づくり演劇公演

長町の地域の方々が役者となり、手づくりで完成させた市民劇「わがまち ながまち 愛のまち～長町青物市場物語」が上演されます。戦後間もない長町にあった青物市場を舞台とする人情物語が繰り広げられます。

- 対象 未就学児以外どなたでも
- 時 9月14日(土)18:30開場、15日(日)10:00・14:00開場
- 場所 太白区文化センター楽楽ホール
- 入場料 前売高校生以上1500円、小中学生1000円(当日高校生以上1700円、小中学生1200円)
- 問 022-247-4369 布久満

編み物ボランティア養成講座
～編み物お茶っこのみしましょう～

編み物ボランティアの活動が始まります。グループで編み物を楽しみたい方、ボランティアしたい方歓迎。全3回の講座の後に、仮設住宅で行う編み物茶話会のボランティアとして参加していただけます。

- 対象 編み物を通したボランティア活動に興味がある方
- 時 9月12日(木)、19日(木)、26日(木)13:00～15:00
- 場所 仙台市シルバーセンター(青葉区花京院1-3-2)
- 費用 500円(用具、材料費込) 定員 15名(先着順)
- 講師 Joli crochet主宰 高野文江氏
- 申込方法 電話かFAX。FAXの場合は住所、氏名、電話番号を明記
- 申・問 022-215-3170 仙台市シルバーセンター FAX022-215-4140

手しごと秋保彩展 Vol.5
～海と森を繋ぐ名取川「わ」プロジェクト～

「名取川流域文化交流」をテーマに、秋保のつくり手が津波で被災した荒浜の復興プロジェクトに参画し、その地域の歴史・素材を発見し新しいモノをつくることで、地域の元気を取り戻す手伝いをする提案展です。入場無料。

- 対象 どなたでも入場できます
- 時 9月20日(金)～25日(水)10:00～20:00(25日は～19:00)
- 場所 東北工業大学一番町ロビー(青葉区一番町1-3-1)
- 主催 手しごとAKIU
- 問 022-723-0538 東北工業大学 一番町ロビー

FMたいはく番組づくりスタッフ募集

毎月第4水曜日14:00～14:20に、あなたの声を太白区にお住まいの皆さんに届けませんか? 地域の話や市民センター情報を楽しく発信するスタッフを募集しています。

- 対象 番組づくりに興味があり、月1～2回程度活動できる方
- 募集人数 5名程度
- 選考方法 面接、書類審査
- 問 022-304-2741 太白区中央市民センター(阿部)
- ※窓口で直接おいでになるか、電話でお問い合わせください

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
泉区役所巡回相談・サロン「ちくちく工房」	泉区のみなし仮設にお住まいの方	9月10日(火)	10:00～12:00	泉区役所5階	「ランチョンマット」を手づくりします。ちくちくしながらおしゃべりしましょう	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
いくねおちゃっこ会	六郷地区にお住まいの方、元六郷地区の方	9月11日(水)	10:00～12:00	六郷市民センター	若林地区・お楽しみかくし芸	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
なつかしの音楽・名曲クラシック	宮城野区のみなし仮設にお住まいの方	9月14日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	皆で懐かしい音楽を鑑賞しましょう	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ほのほの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	9月21日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	リーフコースターづくり(手芸)	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
第17回木町サロン	木町地区にお住まいの方	9月28日(土)	10:00～12:00	木町通市民センター	ディスコン(円盤を使い誰でも安全にできるスポーツ)&交流会	要 (返信はかき)	支えあいセンター あおば 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所)

※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
9月10日(火) 10:30～12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台的のちの電話事務局 022-718-4401(ほっとカフェ担当)
9月11日(水) 13:30～15:00	心の悩みを聴くおしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日 9:00～17:00)
9月27日(金) 13:30～15:00	押し花作品づくり ※材料費500円～1000円	どなたでもどうぞ	押し花アート幸の会 022-225-0424(浅倉)
9月18日(水) 10:00～13:00	栄養バランス講話と個人栄養指導 ※食事代300円	仮設住宅入居者	安心安全の町づくり 022-247-0659(宮内)
9月18日(水) 13:00～15:00	小物づくりとお茶会	仮設住宅入居者	仙台友の会 090-6688-7073(藤田)
9月25日(水) 13:00～16:00	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色業工房 090-9072-2160(庄子)

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲、歌詞はありませんが、何度聞いても「すつとこどっこい」と聞こえる一節があります。不思議な事に、この聞こえ方が日によって変わるのです。いつもは、おもしろおかしく、元気が下がっている時は、つまらなく聞こえます。音楽の一節に対する感じ方でもこんなに違うのかと驚いています。最近、我が家では、毎日の元気をこの一節で確認しています。

ところで元気が下がった時、皆さんは何をなさいますか。私は、からだの元気は、「寝る」「食べる」ことで保つようにして、心の元気回復のためには、マッサージや熱中できるダンスを行っています。また、普段から機会を見つけては風に向かって立ち、風に吹かれるようにしています。私は風に吹かれると、すっきりとしたからだの爽快感と、心の安らぎを同時に得られるのです。「風」に対する感じ方を、自分自身で刷り込んできたのかもしれない。

心の元気、皆さんはどの様にチェックし、どんなケアをしていますか。好きな事、楽しい事、夢中になれるもの、気持ちのいい事、癒やされる事等、ぜひ「心の常備薬」をご用意ください。

入江徳子（いりえ のりこ）
健康運動指導士として震災後、避難所や仮設住宅集会所で指導を行っている健康増進センターのリーダー的存在

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1		2		3	4	5
D				A		
		6	7		8	
			B			
9	10		11			
					13	14
12						
			15	16		
17		18		19		
		20				

タテのカギ

- ①仙台市初の名誉市民にして詩人、英文学者の土井〇〇〇〇。市内には、その名をとった〇〇〇〇通りがあります
- ②人口100万人を超える仙台市は、東北最大の〇〇といえます
- ④酒を注いで飲む小さい器
- ⑤仙台市在住の直木賞作家・伊集院静の妻は、女優の〇〇ひろ子
- ⑦敵の本陣、大きな組織の中樞
- ⑩9月20、21日、志波彦〇〇〇〇と塩竈〇〇〇〇にて、「しおがまさま神々の月灯り」が開かれます
- ⑭仙台市出身の漫画家・荒木飛呂彦の代表作といえば、「ジョジョ」の奇妙な〇〇〇〇
- ⑯2002年にノーベル化学賞を受けた〇〇〇耕一は、東北大学出身
- ⑰9月14～23日、野草園にて「〇〇まつり」が開催されます
- ⑱寅さんの名ゼリフ、「〇〇は車、名は寅次郎。人呼んで…」

ヨコのカギ

- ①野球で、打つために必要な棒
- ③「ひよっこりひょうたん島」などで知られ、日本芸術院会員である井上〇〇〇は、仙台第一高校の出身
- ⑥「暗夜行路」「城の崎にて」などで知られる〇〇直哉は、石巻市出身
- ⑧芸人の〇〇英孝は、宮城県の魅力を全国に発信する「みやぎ絆大使」のひとり
- ⑨芸道で素質がないのは、〇〇が悪い
- ⑩今年のテーマは「音楽は無量大」。9月7、8日に、定禅寺ストリート〇〇〇フェスティバルが開かれます
- ⑫仕事から退いてのんびりと暮らすこと
- ⑬仕組みや機構の大きさ
- ⑮〇〇は世につれ世は〇〇につれ
- ⑰青葉城恋唄より。♪広瀬川～流れる岸辺～想い出は帰らず 〇〇〇～踊る光に…
- ⑲ことわざ。〇〇〇は人の為ならず
- ⑳マリンピア松島水族館でも人気者。「海豚」の読みは？

前回のこたえ

A ナ B ツ C ヤ D ス E ミ
でした。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ト	ス			ア	イ															
ウ	ナ	ジ		ツ	ユ															
ロ		ビ	カ	シ																
ク	シ		タ	マ	シ	イ														
	ハ	ワ	イ																	
	ア	ン	キ		ハ	ナ	ビ													
			ミ		ロ	ク														

編集後記

最近ウチの女の子ワンコの調子が悪い。膀胱炎には間違いないけど、細菌性のモノでも膀胱結石でもガンでもない。医者も首をひねる現状。少しでも良くなるよう試行錯誤の毎日です。（さいとう）
自室の女子力の低さに愕然とし、植物を育て始めました。先日、寝ぼけて鉢を蹴り倒し、芽が出てきたばかりのバジルがおしゃかに。やはり私は、女子っぽいことに不向きなようです。（あつみ）

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp